

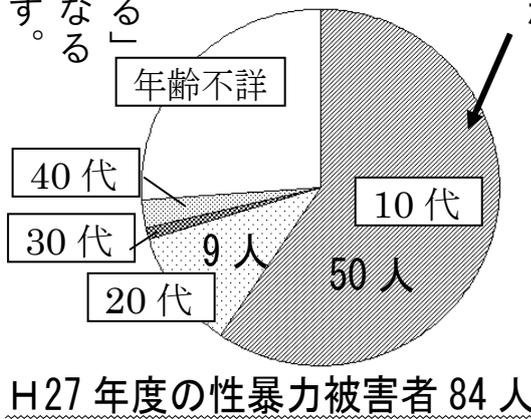
細川かをり県政報告

第29号

未成年者に対し「わいせつな行為をする」「売春を強要する」「シンナーや覚せい剤を密売する」など未成年者の心身に有害な影響を与え、健全な育成を阻害する悪質な犯罪を「福祉犯罪」と言います。県警によれば、昨年度の福祉犯の数は36人。

さらに、済生会病院に設置された「性暴力救済センターひなぎく」では、性暴力に遭われた方の相談・診療治療・カウンセリングなどを行い、必要に応じて警察や法テラスなど関係機関と連携するなどのワンストップサービスをしていますが、被害者の年齢はグラフのとおり、十代が半数以上です。

また、私の教員時代（約十年前）、生徒指導に当たっていて「ネグレクト（養育放棄）」の「家庭が出てきてびっくりしていたのですが、今や「親が集金等を払わないうえ、あきらめて自分で学費を稼ごうとする子ども、そのアルバイト代を搾取する」という、親としての自覚を疑いたくなるケースまで何件も聞こえてきています。



私は、「青少年を健全に育成する」取り組みは学校の中からだけでは限界があると痛感し、困難承知で今の立場を選んだ身です。ですから、昨今の事件やトラブルを受け、今議会の一一般質問で、「子たちを健やかに育てるのは大人の責任だ」と、「きちんと向き合って欲しい」と、力説した次第です。今後も主張し続けたいと決意しているところです。



有害サイトの性描写は、女性の人権無視や暴力的なものが圧倒的に多く、性に関する倫理観、価値観を蝕んでいる。子どもを取り巻く環境は、有害な情報や危険があらわれており、憂慮すべき事態だ。「大人の責任」を自覚して、しっかり向き合わねばならない。

東京都は「青少年の健全育成に関する条例」を定め、パケットフィルタリングなどにより児童ポルノ根絶、携帯ファイルタリングの厳格化、ネット上の有害情報にかかる努力義務などを訴え、行政・事業者・保護者の責務の自覚を強く促している。

大阪府は「青少年健全育成条例」を定め、審議会が条例を常に点検。「性的虐待、ネット社会における青少年保護、スマホ時代に大人が知っておきたいこと」などの調査研究を行い、提言書を出している。動画でスマホの危険性を訴えている。（↑「会ったことのない相手に顔写真を送ったら、裸の画像と合成されて脅された」といった事例の動画）

福井は「青少年愛護条例」や審議会はあるが、優良図書、有害図書の選定、テレクラの禁止…など現状にそぐわない。条例改正と、突破力のある取り組みを強く求める。

青少年は未来の福井を担う存在。次世代の若者たちが良くなるように、最大限努力する。「大人が変われば子供も変わる」と県民運動を精力的に展開する。



●イノシシ



昨シーズンは集中捕獲も含め捕獲数はまた最高数を更新し、猪の被害面積など被害は6割の減少です。でも「去年はどんぐりが豊作だったので栄養満点で子供が増えているだろうけど、もし今年が不作なら今シーズンはたくさん出てくるかも」との不安の声もあり、油断大敵です。

そんな中、越前市ではモデル地区を決めて被害防止を強化しています。先日、入谷町で行われた「電気柵の点検」の一コマをご紹介します。



電気柵の点検。
砂利やアスファルトのところは電圧が下がります。
どうしても道路を横切らなくてはならない場合とか護岸とか、注意箇所の対処法を探ります。
山際の草刈がポイントです。

電圧は4000ボルト以上あって欲しいそうで、テスターで測って確かめます。上より下のほうが低くなりがちで、電圧の低い場合はその原因箇所を探り、直していきます。
このテスターは良いですね！私も早速試しに購入してみました。「集落にひとつ、あるといいのだけど」…とのことです。

※入谷町は30軒弱の集落ですが、防護柵の設置距離はかなり長い！でもさすが、みごとにピンと電気柵が張り巡らされています。点検を行い、守りを強化することで、猪は他へ行くでしょうね！…って、もしかしてうちへ来る？！（^^；）

●イノシシ肉でアンチエイジング！

認知症予防や美肌効果など、アンチエイジング（老化防止）で注目を集める「コエンザイム Q10 (CoQ10)」という栄養素が、イノシシ肉に多く含まれているそうです。それも一般的に CoQ10 が多いとされている牛肉や豚肉の2倍以上！

美味しいお肉は、猪の仕留め方や血抜きなどのやり方次第だそうで、ベテランのハンターは処理の仕方ものっぴき上手です。これぞ「山の文化」と思うのですが、これ、結構秘伝の技だったりして、「消えてしまわないかしら」と心配しています。

ぜひぜひどなたか、猟とともに、処理技術も継承して欲しいと願い、取り組んでいくつもりです。

今年度は産業常任委員会に所属、産業振興や観光、農林水産に関し、突っ込んで議論します。

平成28年度
狩猟免許
初心者
講習会
第1種/第2種銃猟
網猟・わな猟

ハンティングは生態系を守る。

狩猟宣言

福井県：狩猟免許試験(初心者)準備講習会
開催日時 平成28年7月9日(土)・10日(日)
開催場所 武生商工会議所(越前市塚町101)
問合せ先 (一社)福井県猟友会 TEL. 0776-22-7206
(福井市松本 3-16-10 福井県職員会館ビル4階)



●猿

今、一番多くの集落を悩ませているのは猿ではないでしょうか。猿対応の網やロケット花火で追い上げるなどの自衛策をお願いしてきておりますが、「猿もさる者」人のやり方をじっと見て、それを突破しに来ます。

「もうロケット花火に慣れてしまっている。」「子ザルも入れて60頭以上いる」、「網の甘かったところから入られた」、「ほうれん草を捕って、川で土を洗い落として食べていた」などなど、あちらこちらから悲鳴があがります。

委員会でも取り上げて質問しましたが、結局のところ、「猿とは『戦い』なんです。」と、担当者に言われました。本当に厄介です。

丹南地域に生息する猿の集団は、「被害レベル3」で、全頭捕獲の対象ではありませんので、**集団の弱体化**を目指します。

嶺南では、これまでの捕獲によって逆に群れが分散して増えてしまい、現状も掴みづらい状況になってしまいました。猿の捕獲には、用心と工夫が必要です。

自然界の猿は「母系集団」で、出産経験のある「メス」がボスです。ボス猿を捕獲してしまうと群れが分断、散り散りになってしまい、かえって被害が広がります。そこで、群れの構成上、とつても影響の少ない「子供、オス、出産経験のない若いメス」を対象とします。

動き回る猿の捕獲はまだまだ模索中で、新たな試みもありますが、地域の皆様のご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。

※越前市では「サルどこネット」で猿の出没情報を発信・共有しています。(PC, スマホ対応)
お申し込みは越前市農林整備課へ



武器も進化「電動ガン」



「スリングショット」
競技用パチンコです

●これまでの取り組みと個体数管理計画

【県の取り組み】

- ①柵の整備 県全体でH35年までに2800km張り巡らせる計画のうち
- ②個体駆除 個体数管理、罠、檻の購入費支援
くくりわなは昨年度1,000から2,300に増加
- ③体制強化 防護柵の設置・管理の技術講習会開催、
免許取得者を増やす



【管理計画で捕獲目標設定】

- 鹿 現在約32,000頭いると予測する ⇒ 年間10,000頭捕獲が目標
- 猪 正確な生息数の予測はできない ⇒ 被害面積200haに抑える
年間10,000頭以上捕獲が目標
- 猿 現在63の群れがあり4,400頭生息すると予測する
そのうち被害を及ぼすのが44の群れ約2,200頭
⇒ H32年度末までにこれを半減させるのが目標
防護柵が破られたら自動的に通報するシステムも活用。

おわりに

◆週末、この春から隣県の高校に勤め始めた娘が帰省しました。彼女にイマドキの高校生事情を尋ねたところ、

「今の高校生は、ツイッターに本名で登録するんやで！すごく危険。そして、それを元にスマホで同じ学校の人とつながり、学年を超えてもつながる。ツイッターであこがれの先輩の日常を見ることもできる。入ったばかりの一年生が、あつという間に三年生とつながるなんて、私たちの頃には考えられなかった。」

とのこと。先日まで大学生だった者が今の高校生を見て驚くのですから、携帯電話を活用する若者たちの、SNS（ラインやツイッターなどのソーシャルネットワークサービス）の使い方の変化や広がりには驚かされるばかりです。さらに、

「自分の顔写真や面白い画像をアップして、それを見た人の反応数（『イイネ』とボタンを押してくれた人の数）が増えると嬉しくなるので、どんどんふざけた画像を出す。」

「それは学校の仲間だけじゃなく、日本中、世界中の人に見せていることになるのよ」とか『時間が経ってもネットの世界では消えないよ』とか言っても止めない。」と憂えています。

実際、インターネットやスマホに関わる事件は増える一方です。

「人とのつながり」は、「相手を直接見てその言動を知って・・・」というところから始まるのが基本で、相手の表情や声の調子などから気持ちを探したり、喧嘩のあとの関係修復をしたり、行動で感じ取ったりという複雑なコミュニケーション能力は、家族や友人との直接的な関わりからだんだん身につくものです。スマホに頼り、直接的な人間関係が希薄になる若者たちを見ていると、将来的に、国民性も大きく変わるような気がして恐ろしく思っています。

こうしたことに無関心ではいけません。このような社会にしてみました「大人の責任」を自覚し、すでに取り組み始めた他県の施策も参考にしながら、今こそ福井も行動する必要があると確信しています。

県政報告会

7月21日（木）

「家久公民館」

とき 午後7時～
会場 家久町71-34-11

テーマ「青少年の健全育成
防災等」

7月6日（水）

「村国コミュニティーセンター」

とき 午後7時～
会場 村国1丁目

※武生国高郵便局角を南に
曲がった山側正面付近

テーマ「熊本地震の教訓」

細川かをり県政報告 H28.7

発行：福井県議会 細川かをり
ホームページ

<http://www.kawori-hosokawa.com>

事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888

★ ラジオ「丹南FM79.1」

「県議会 夢 通信」

7月16日（土）午後4時～4時半
再放送 17日（日）午前9時～9時半